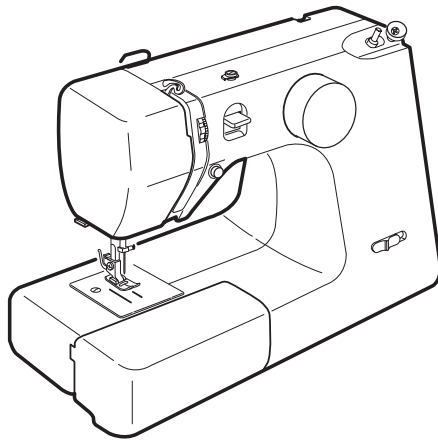


取扱説明書



JANOME

安全上のご注意

- ◆ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ◆ここに示した注意事項は、ミシンを安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- ◆お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- ◆このミシンは、日本国内向け家庭用です。 FOR USE IN JAPAN ONLY.

危害・損害の程度を表わす表示	 警告 この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。	 注意 この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
----------------	---	---

本文中の図記号の意味		△記号は、気を付けていただきたい「注意」の内容です。 図の中には具体的な注意内容を表示しています。(左図の場合は一般的な注意)
		⊘記号は、行ってはいけない「禁止」の内容です。 図の中には具体的な禁止内容を表示しています。(左図の場合は分解禁止)
		●記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。 図の中には具体的な指示内容を表示しています。(左図の場合は一般的な強制)

 警告	感電・火災の原因になります。
 禁止	ストーブ、アイロンの近くなど温度の高いところでは使用しないでください。 ミシンの使用温度は5℃～35℃です。
 禁止	スプレー製品などを使用した部屋や、引火しやすい物の近くでは使用しないでください。
 禁止	電源コードを傷つけたり、加工したり、はさみ込んだり、たばねたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、重い物をのせたり、高温部に近づけたりしないでください。 電源コードおよびプラグが破損した場合は、使用しないでください。
 必ず実行	一般家庭用、交流電源 100 V でご使用ください。
 必ず実行	電源プラグは定期的に乾いた布でふき、ほこりなどを取り除いてください。
 必ず電源プラグを抜く	以下のようなときは、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。 ・ミシンのそばを離れるとき ・ミシンを使用したあと ・ミシン使用中に停電したとき

 注意	感電・火災・けがの原因になります。
 禁止	ぬい中に布を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。
 禁止	ミシンの通風口はふさがないでください。
 注意	お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用される場合は、特に安全に注意してください。
 必ず実行	プラグ受けに、糸くずやほこりがたまらないようにしてください。
 必ず実行	針および押さえは、確実に固定してください。 また、押さえは、ぬいに合ったものをご使用ください。
 必ず実行	電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らず電源プラグを持って抜いてください。
 必ず実行	以下のことを行うときは、電源スイッチを切ってください。 ・押さえ、アタッチメントを交換するとき ・上糸、下糸をセットするとき
 必ず電源プラグを抜く	以下のことを行うときは、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。 ・ミシンのお手入れを行うとき ・針、針板、ランプを交換するとき (ランプは、冷えてから交換してください。)
 必ず電源プラグを抜く	ミシンに以下の異常があるときは速やかに使用を停止し、まず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店にて点検・修理・調整をお受けください。 ・正常に作動しないとき ・水にぬれたとき ・落下などにより破損したとき ・異常な臭い・音がするとき ・コード・プラグ類が破損、劣化したとき

 注意	感電・火災・けがの原因になります。
 分解禁止	分解はしないでください。
 接触禁止	ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針・はすみ車・天びんなどすべての動いている部分に手を近づけないでください。
 禁止	このミシンを使用するときは、付属の専用電源コードを使用してください。 付属の専用電源コードは、このミシン以外の電気製品には使用しないでください。
 禁止	曲がった針や先のつぶれた針は、ご使用にならないでください。

目次

① 各部のなまえ	1	⑮ 上糸の準備	5
② 標準付属品	1	⑯ 下糸の引きあげ方	6
③ 電源のつなぎ方	2	⑰ 直線ぬい	7
④ スタート・ストップボタン	2	⑱ 糸調子の調節	8
⑤ スピードの調節	2	⑲ 下糸調子の調節	8
⑥ 返しぬいレバー	2	⑳ ジグザグぬい	9
⑦ 押さえ上げ	3	㉑ ジグザグぬいたち目かがり	9
⑧ 押さえの交換	3	㉒ くけぬい (まつりぬい)	10
⑨ フリーアーム	3	㉓ ボタンホール	11
⑩ 模様の選び方	3	㉔ 針の取り扱い	12
⑪ ボビンケースの外し方とボビンの外し方	4	㉕ ミシンのお手入れ	13
⑫ 下糸の準備	4	㉖ ランプの交換	13
⑬ ボビンのセット	5	㉗ ミシンの調子が悪いときの直し方	14
⑭ ボビンケースの取り付け方	5		

おとり扱いについてのお願い

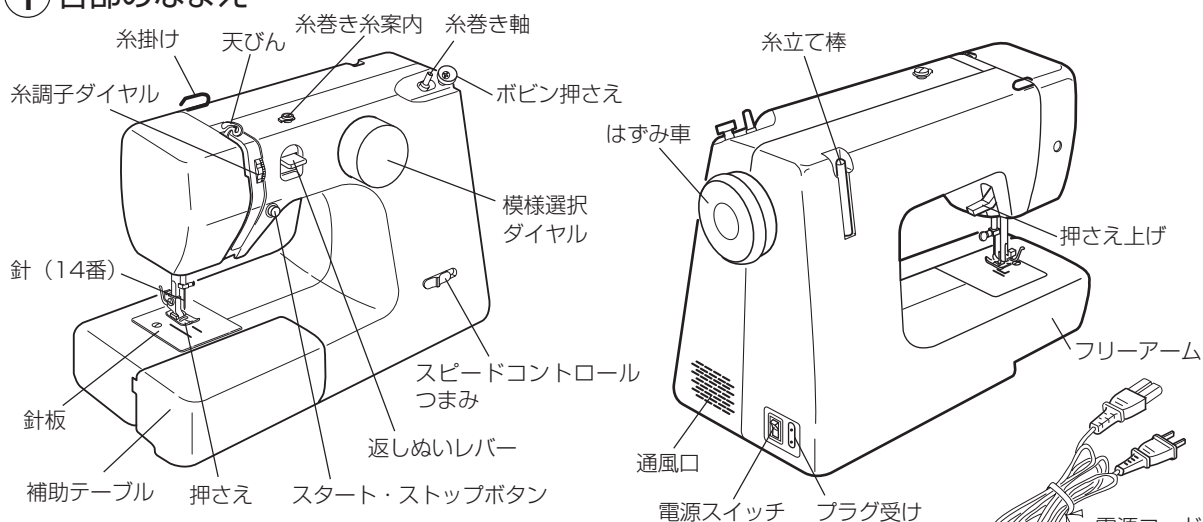
◇ご使用の前に

- ① むう布を汚さないようにするため、針板付近の油やほこりなどの汚れを、乾いたやわらかい布で十分にふき取ってください。
試しぬいをして、布が汚れないことを確認してから使用してください。
- ② シンナー、ベンジン、ミガキ粉は絶対に使用しないでください。

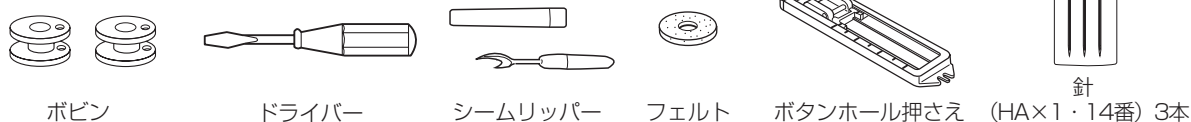
◇いつまでもご愛用いただくために

- ① 長時間日光に当てないでください。
- ② 湿気やほこりの多いところはさけてください。
- ③ 落としたり、ぶつけたりするなど衝撃を与えないでください。

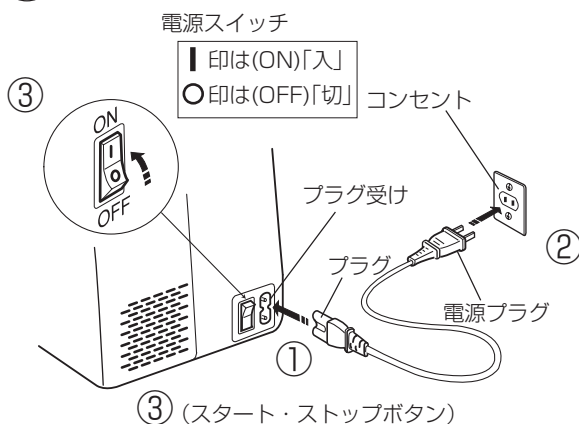
① 各部のなまえ



② 標準付属品 補助テーブルに収納されています。



③ 電源のつなぎ方



○	□	×	□
スタート・ストップ ボタンを戻したとき (ストップ位置)		スタート・ストップ ボタンを押したとき (スタート位置)	

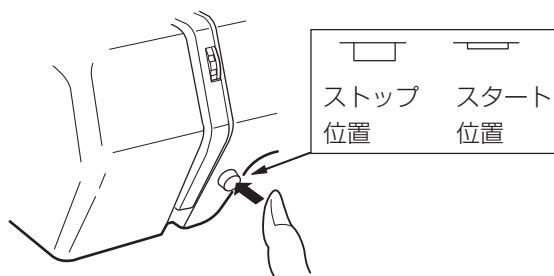
- ① 電源スイッチを切ってから、プラグをプラグ受けに差し込みます。
- ② 電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ③ スタート・ストップボタンが「ストップ」の位置にあることを確認して、電源スイッチを入れます。

※電源は一般家庭用（100 V 50 Hz/60 Hz）です。
※ミシンを使わないときは、電源プラグを抜いてください。

⚠ 注意

電源スイッチを「入」にすると、および電源プラグをつなぐときには、必ずスタート・ストップボタンを「ストップ」の位置にしてください。
スタート・ストップボタンが「スタート」の位置で電源スイッチが「入」になっている場合には、電源プラグをつなぐと同時にミシンが動きだし危険です。

④ スタート・ストップボタン



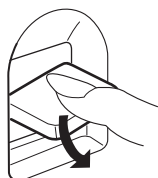
ボタンを押すと、スピードコントロールつまみでセットした速さでぬい始めます。
もう一度押すと止まります。

⑤ スピードの調節



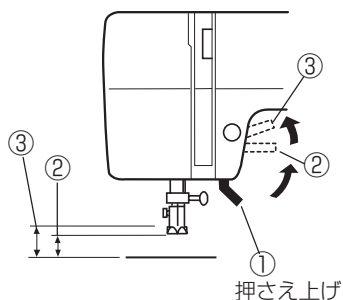
ぬう速さは、「おそい」または、「はやい」にスピードコントロールつまみをセットしてください。

⑥ 返しぬいレバー



ミシンを運転中レバーを押している間は返しぬいをし、離すと前進ぬいになります。
ぬい目のほつれ止めなどに利用します。
※返しぬいレバーを下に押したとき、返しぬいレバーが斜めになりますが、ミシンの特性によるものであり故障ではありません。あらかじめご了承ください。

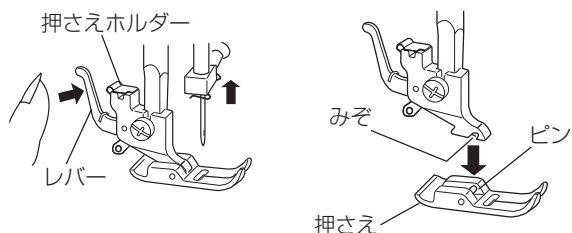
⑦ 押さえ上げ



押さえ上げで押さえのあげ下げを行います。
普通にあげた位置よりさらにあげることもでき、厚物の布を入れるときの補助リフトとして使用できます。

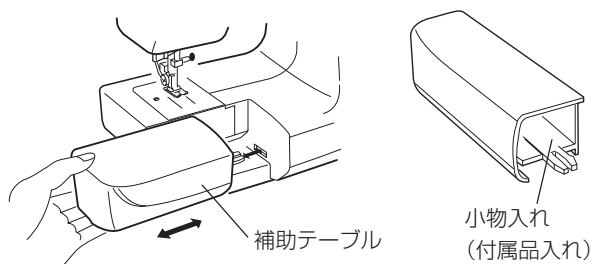
- ①さげた位置
(ぬい有的时候にはさげておきます。)
- ②普通にあげた位置
(布の取り出しや、押さえの交換のときにあげます。)
- ③さらにあげた位置 (固定することはできません。)
(補助リフトで、厚物の布が入れやすくなります。)

⑧ 押さえの交換



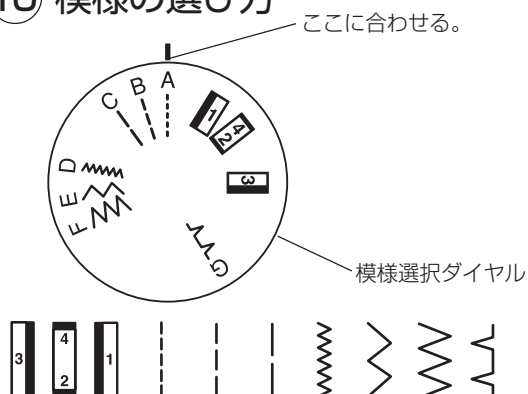
- ① 針と押さえ上げをあげ、押さえホルダーのレバーを押して外します。
- ② 押さえのピンを押さえホルダーのみぞの真下において、押さえ上げを静かにおろします。

⑨ フリーアーム



補助テーブルを横に引いて外すと、フリーアームになります。
補助テーブルは、小物入れとしても利用できます。

⑩ 模様の選び方

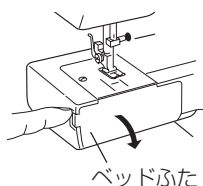


針をあげて模様選択ダイヤルをまわし、模様を選びます。

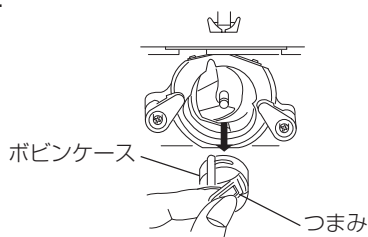
※ 針が布に刺さったままで模様選択ダイヤルをまわすと、針が曲がったり、折れたりする原因になります。

11 ボビンケースの外し方とボビンの外し方

★ボビンケースの外し方

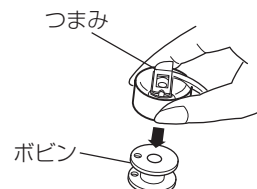


① 針と押さえ上げをあげ、ベッドふたを開きます。



② ボビンケースのつまみを持って取り出します。

★ボビンの外し方



ボビンケースのつまみをはなして下に向けるとボビンが外れます。

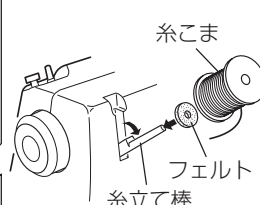
12 下糸の準備 ※ナイロン透明糸およびメタリック糸は、下糸には使用しないでください。

お願い

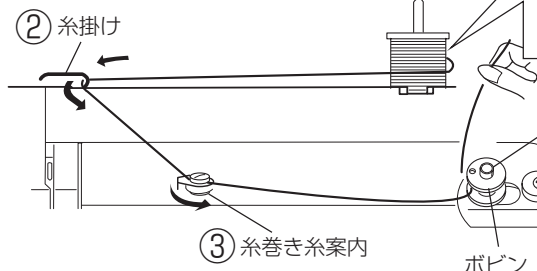
ボビンは当社専用のプラスチックボビンをおすすめします。
(お買い上げの販売店へご相談ください。)



【糸こまのセット】



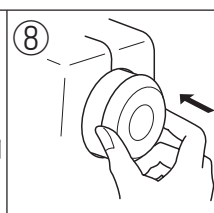
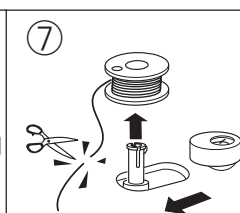
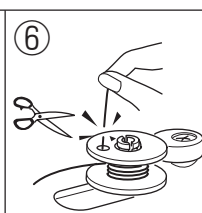
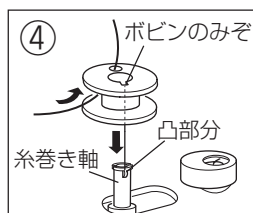
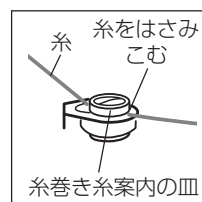
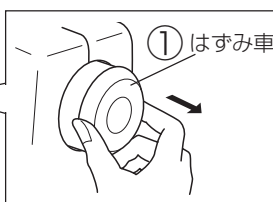
糸立て棒は、ミシン本体に収納されていますので、向こう側に倒します。次に、フェルトを入れ、糸こまをセットします。
(糸の端は図の方向に出す)
収納するときは、糸こま、フェルトを外して、糸立て棒をもとにもどします。



① はずみ車を引き出します。

② 押さえ上げをあげ、糸こまから引き出した糸を糸掛けにかけます。

③ 糸巻き糸案内にかけます。(糸巻き糸案内の皿の下に確実に入れてください。…右上図参照)



④ ボビンの穴に内側から糸を通します。

糸巻き軸の凸部分とボビンのみぞが合うように、糸巻き軸にボビンを差し込みます。

⑤ ボビンをボビン押さえの方に押しつけます。

※ボビン押さえのねじはゆるめないでください。

⑥ 糸の端をつまんだまま、ミシンをスタートさせて巻き始めます。ボビンに糸を約3秒間ほど巻き付けたらミシンを止めて、穴の近くでつまんでいる糸を切ります。

※スピードコントロールつまみは、「はやい」にセットしてください。

⑦ 再びミシンをスタートさせ、巻き終わったらミシンを止めます。糸巻き軸をもとにもどし、ボビンを外して糸を切ります。

※糸巻き軸は、必ずミシンを止めてから動かしてください。

⑧ はずみ車をもとの位置(押し込む)にもどします。

13 ボビンのセット



① 糸の端を矢印方向（時計まわり）にたらし、ボビンケースに入れま

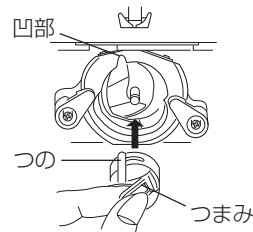


② みぞに糸を通します。



③ 糸を引いて糸調子ばねの下を通し、糸口に引き出します。糸は 10 cm ほど出しておきます。

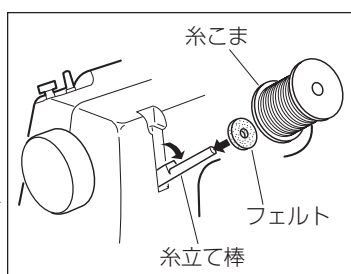
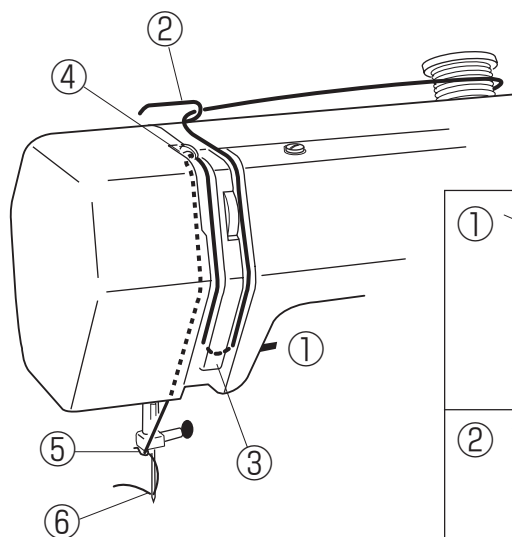
14 ボビンケースの取り付け方



ボビンケースのつまみを持って、つのかまの凹部に合わせ、奥の方へいっぱいに入れてから、つまみをはなします。

15 上糸の準備

★上糸のかけ方



【糸こまのセット】

糸立て棒を出して、フェルトを入れ、糸こまをセットします。

※糸こまを押さえながら正しく糸をかけてください。

⚠ 注意

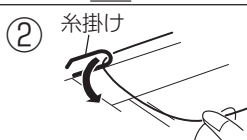
上糸かけを行うときは、必ず電源スイッチを切ってください。けがの原因になります。



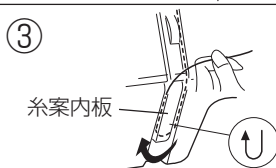
① はずみ車を手で手前にまわして、天びんをいちばん上に出します。



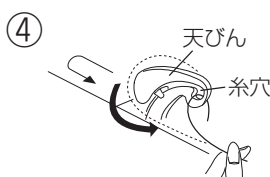
押さえ上げをあげます。
※押さえ上げをあげないと、上糸かけが正しくできません。



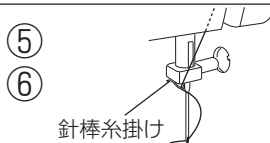
② 糸を糸掛けにかけて、右側のみぞにそって下におろします。



③ 糸案内板の下をまわして、左上に引きあげます。



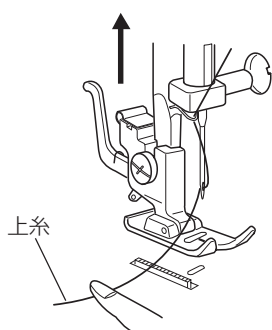
④ 糸こま側の糸を押さえ、天びんの右からうしろをまわして左に出し、ばねを通過させて糸穴に入れます。手前に引き出してまっすぐ下におろします。
※糸が天びんの糸穴まで入っていることを確認します。



⑤ 針棒糸掛けに左からかけます。
⑥ 針に手前から向こう側へ糸を通します。

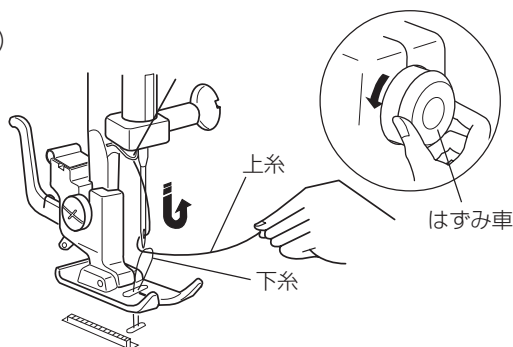
①⑥ 下糸の引きあげ方

①



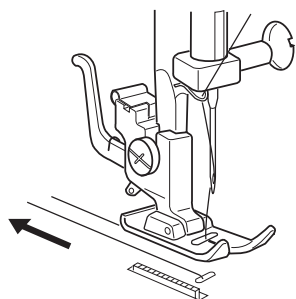
① 押さえ上げをあげ、糸の端を指で押さえておきます。

②



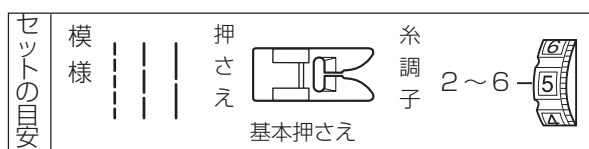
② はずみ車を手で手前に一回転させ、上糸を軽く引くと、下糸の輪が引き出されます。

③



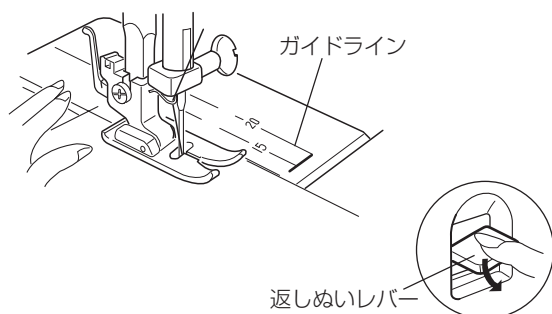
③ 上糸と下糸を押さえの下にして、うしろへそろえて10 cm くらい出します。

17 直線ぬい



※模様は、ぬい目のあらかさが異なる3種類があります。

★ぬい始め

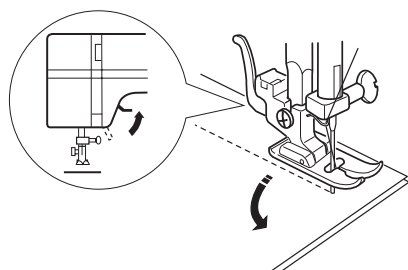


【ガイドラインの利用】

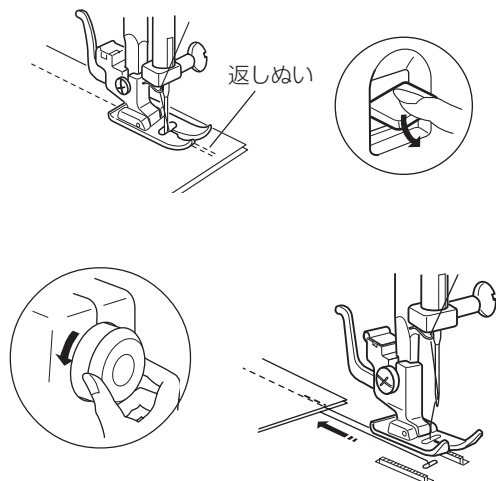
数字	10	15	20	3/8	4/8	5/8	6/8
間かく(cm)	1.0	1.5	2.0	1.0	1.3	1.6	1.9

※数字は、針穴中央からの距離です。

★ぬい方向の変更



★ぬい終わり



【ぬい始め、ぬい終わりのご注意】

ぬい始めは、必ず針を布に刺してからスタートしてください。

ぬい終わりに布を引き出すとき、必ず針をいちばん上にあげてから引き出してください。

①上糸と下糸を押さえの下を通し、向こう側に引き出した状態で布を入れ、糸と布を左手で押さえ、はずみ車を手で手前にまわしてぬい始めの位置に針をさします。

②押さえ上げをさげてぬい始めます。

※ぬい始めのほつれ止めは、返しぬいレバーを使います。

針板には、布のぬい位置を決めるための便利なガイドラインを表示しています。

ガイドラインの数字は、針穴中央（ぬい位置）からの距離を「ミリメートル」と「インチ」で表示していて、布端をガイドラインに合わせてぬうと、ぬい幅がそろいます。

①布の方向をかえる位置まできたらミシンを止めます。

②はずみ車を手で手前にまわして針を布にさし、押さえ上げをあげます。

③針を布にさしたままぬい方向をかえ、押さえ上げをさげてぬい始めます。

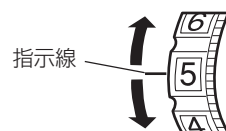
返しぬいレバーを押しながら数針返しぬいをします。

ミシンを止め、手ではずみ車を手前にまわして針をいちばん上にあげます。

押さえ上げをあげて布をうしろ側に引き出し、糸を切ります。

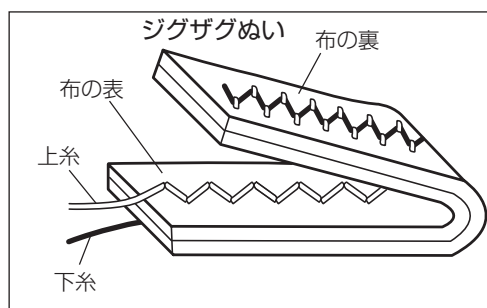
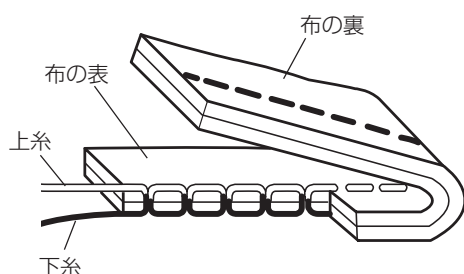
⑪ 糸調子の調節

素材やぬい方によって、糸調子ダイヤルをまわして調節します。
糸調子が正しく調節されていないと、ぬい目がきたなくなり布にしわがよったり、糸が切れたりします。



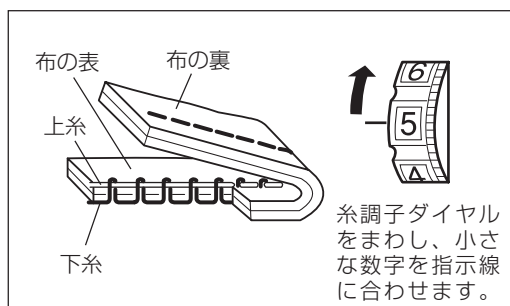
数字を指示線に合わせます。

【正しい糸調子】・・・上糸と下糸がほぼ中央でまじわります。



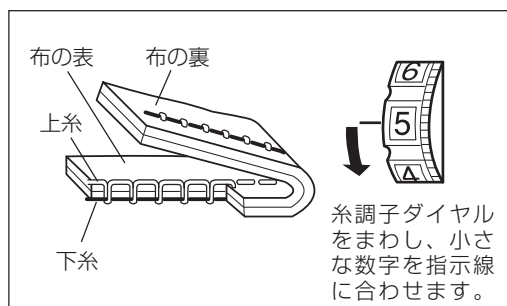
【上糸が強い場合】

・・・下糸が布の表に出ます。



【上糸が弱い場合】

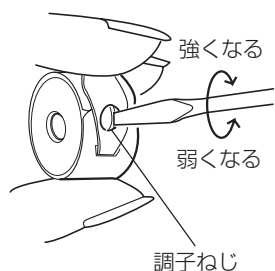
・・・上糸が布の裏に出ます。



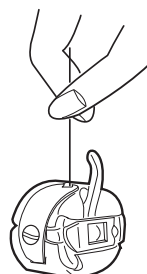
布地の裏がタオル地のような場合

図のように布地の表側は普通にぬえて、裏側がタオル地のようなのは、上糸の糸調子が弱い、上糸のかけ方が間違っています。上記のやり方で上糸を調節するか、上糸を正しくかけ直してください。
「⑮上糸の準備 / ★上糸のかけ方」(5ページ) 参照

⑫ 下糸調子の調節



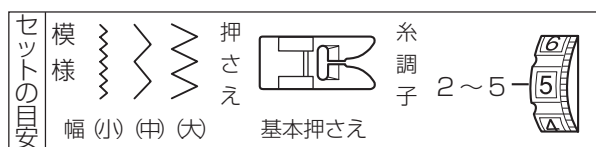
ボビンケースの調子ねじをまわして調節します。
右にまわすと、下糸調子は強くなり、左にまわすと、糸調子は弱くなります。



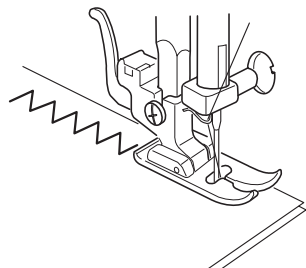
【目安】

糸を持って上下にかかるくゆらしたとき、ボビンケースがゆっくりさがるくらいに調節します。(約 50 g)

20 ジグザグぬい

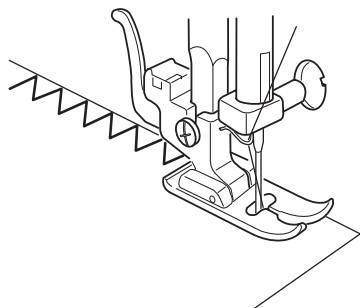
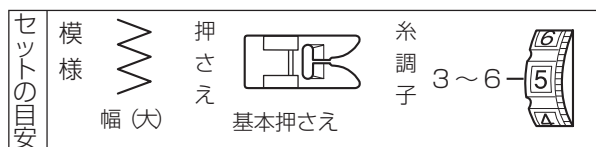


※模様は、ジグザグ幅が異なる（大）（中）（小）3種類
があります。



アップリケや飾りぬいなどに使用します。
伸縮性のある布（ニット、ジャージー、トリ
コットなど）には伸びにくい芯地を貼るとき
れいにぬえます。

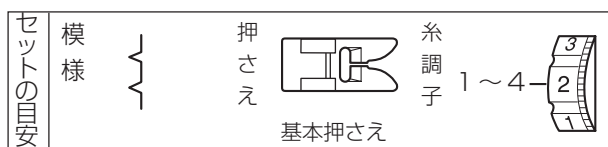
21 ジグザグぬいたち目かがり



布端のほつれ止めとして、広く利用します。

※模様は、幅（大）を使用します。

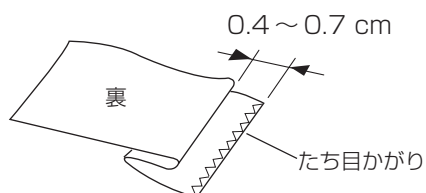
22 くけぬい（まつりぬい）



スカートやワンピースなどの裾のまつりができます。
※生地と同じ色の糸を使用してください。

①

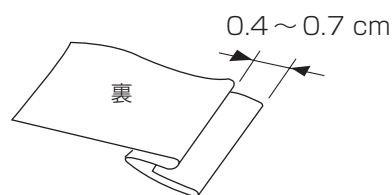
（厚い布の場合）



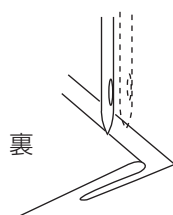
①布を折るときは、裏を表にして下に折り込み、布端を0.4 ~ 0.7 cm ほどはみださせます。

※ほつれやすい厚い生地は、たち目かがりで布端を処理してください。

（うすい布、普通の場合）

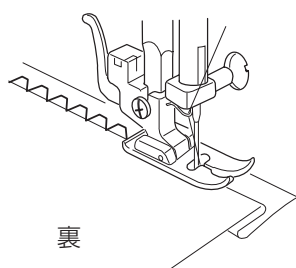


②



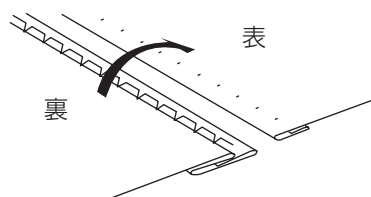
②針が左にきたとき、わずかに折り山をさすように布を置いて、押さえ上げをさげます。

③



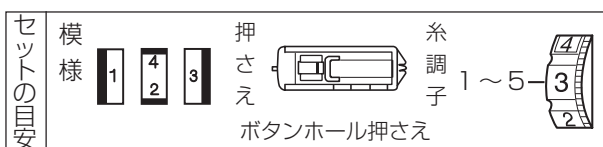
③針が折り山からはずれないようにぬいます。
※左側におりる針が必要以上にかかりすぎると、表に出るぬい目が大きくなり、きれいに仕上がりにません。

④



④ぬい終わったら布を表に返します。

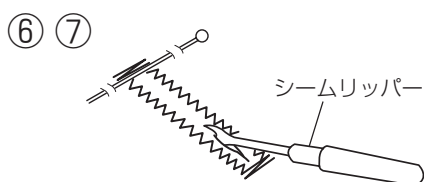
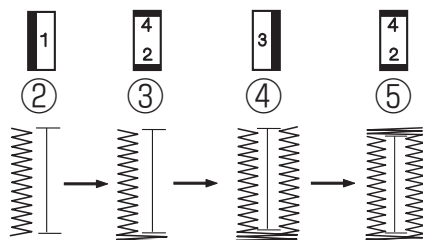
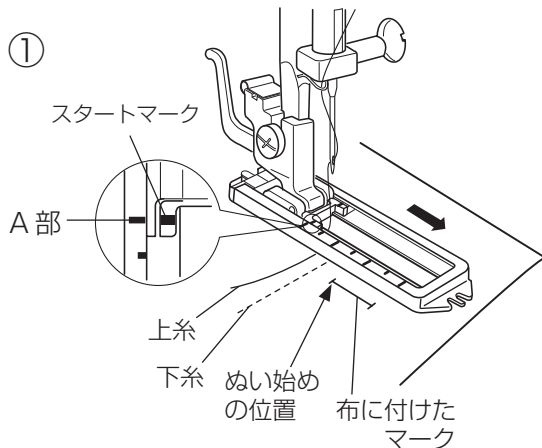
23 ボタンホール



※伸縮性のある布は、伸びないように裏に芯地を貼ってください。

※使用する布の切れ端などで試しぬいをして、正しくぬえることを確認してください。

※ボタンホールをぬう場所に、必ずマーク（しるし）を付けてください。



① 模様 1 を選びます。

上糸を押さえ穴から通して下糸と一緒に横にそろえておきます。

押さえを手前に引き、スタートマークをA部に合わせます。

② ぬい始めの位置に針を刺し、押さえ上げをおろしてミシンをスタートし、必要な長さまでぬってミシンを止めます。

③ 針をあげて模様 4 2 を選びます。

かんぬきを5針くらいぬい、ミシンを止めます。

④ 針をあげて模様 3 を選びます。

左側と同じくらいぬって、ミシンを止めます。

⑤ 針をあげて模様 4 2 を選びます。

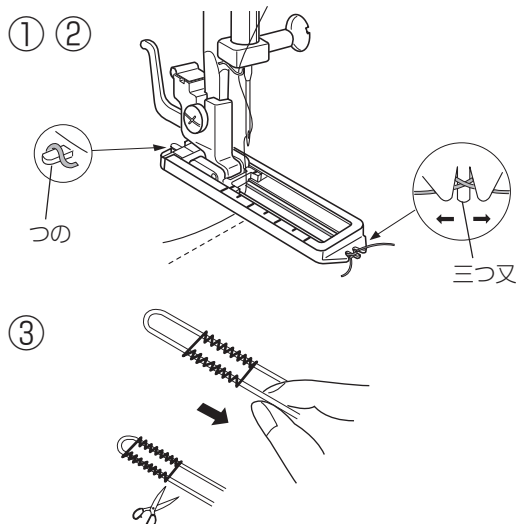
かんぬきを5針くらいぬいます。

⑥ 押さえ上げをあげて布を引き出し、上糸と下糸を10 cm くらい残して切ります。

上糸を布の裏に引き出し、上糸と下糸を結びます。

⑦ かんぬきの内側にまち針を刺し、シームリッパーでかがった糸を切らないように中央部分を切りひらきます。

★芯入りボタンホール



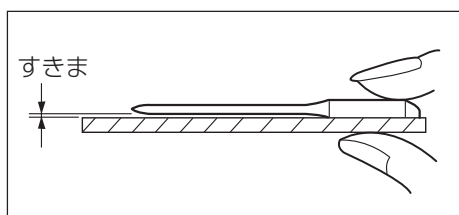
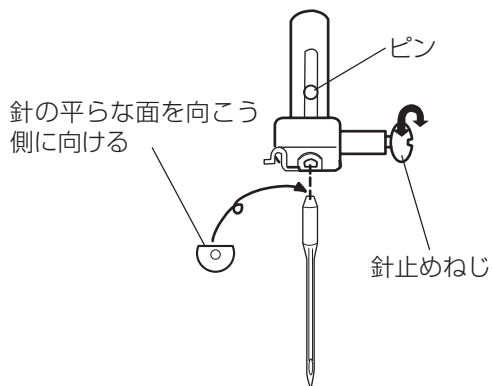
① 芯糸の輪を押さえのうしろ側にあるつのにかけ、押さえの下から手前に平行になるように引き出し、前側の三つ又にはさみます。

② ボタンホール手順と同じようにぬいます。

③ 左側の芯糸を引いてたるみをなくし、余分な芯糸を切ります。

②4 針の取り扱い

★針の取りかえ方



⚠ 注意

針の取りかえは、必ず電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。けがの原因になります。

- ① 針止めねじを手前に 1 ～ 2 回まわしてゆるめ、針を外します。
- ② 針の平らな面を向こう側に向けて、ピンにあたるまで差し込み、針止めねじをドライバーでかたくしめます。

【針の調べ方】

針の平らな面を平らな物（針板など）に置いたとき、すきまが針先まで均等に見えるのが良い針です。

針先が曲がったり、つぶれているものは使わないようにしてください。

★布に適した糸や針を選ぶ目安

※針は必ず、家庭用ミシン針（HA×1）を使用してください。

布	糸	針
うすい布 ローン ジョーゼット トリコット	ポリエステル 90 番	9 番～ 11 番
普通の布 シーチング ジャージー 一般ウール地	綿糸 60 番 ポリエステル、ナイロン 50～90 番	11 番～ 14 番
	綿糸 50 番	14 番
厚い布 デニム ツイード コート地	綿糸 40 番～ 50 番 ポリエステル 40 番～ 50 番	14 番～ 16 番
	ポリエステル 30 番 綿糸 30 番	16 番

※一般に、うすい布には細い糸と細い針を、厚い布には太い糸と太い針を使用します。この表を目安に針と糸を選び、ぬいたい布のはぎれを使って試しぬいをしてください。

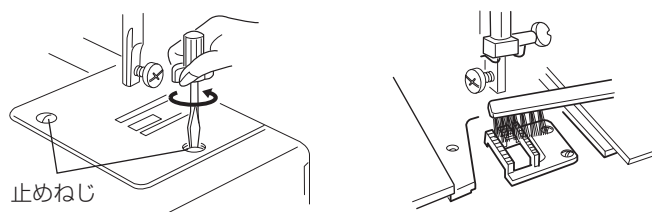
※原則として、上糸と下糸は同じものを使用してください。

※伸縮性のある布（ジャージー、トリコットなど）で目とびしやすい布地には、ジャンメブルー針（オプション）を使用すると、目とびの防止効果があります。

※針は、14 番のみ付属に入っています。

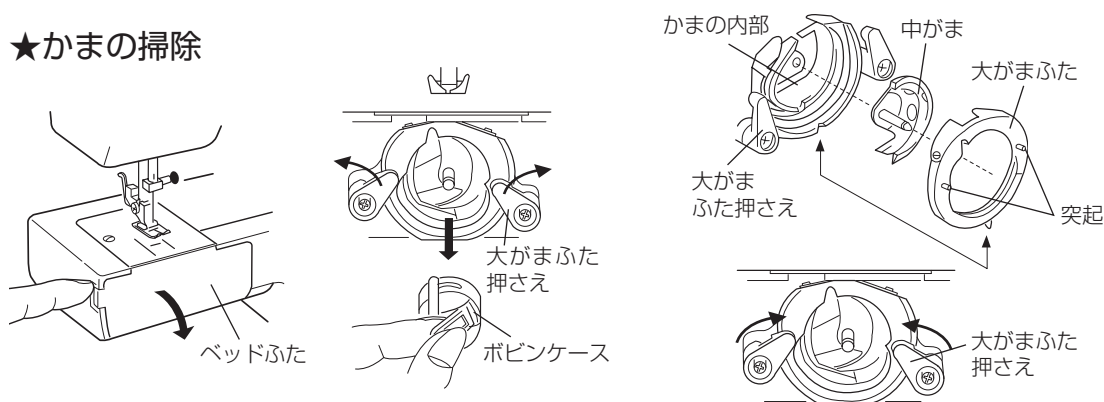
25 ミシンのお手入れ

★送り歯の掃除



- ① 針と押さえを外し、止めねじを外して針板を外します。
- ② 送り歯のごみを、ブラシなどで手前に落とします。(ブラシは標準付属には含まれていません)
- ③ 針板を付けて、止めねじをしめます。

★かまの掃除



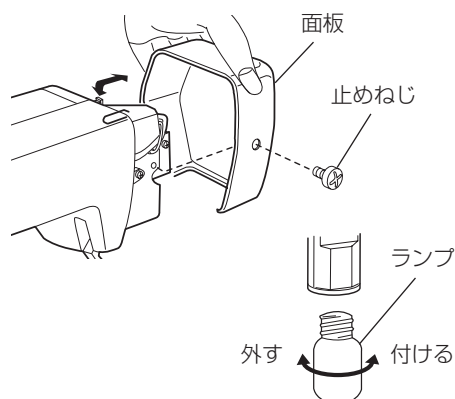
- ① 針をあげて、ベッドふたをあげ、ボビンケースを外します。
- ② 大がまふた押さえを左右にひらき、大がまふたと中がまを外します。
- ③ ブラシでかまの内部を掃除します。
- ④ 中がまを布で拭き、外したときと逆の手順で組み付けます。

※ **大がまふた押さえは、カチッと音がして両脇の突起が隠れるまでしっかり戻してください。**
かまのがたつきや、針がボビンケースに当たって針折れの原因となります。

⚠ 注意

- ・ お手入れのときは、必ず電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
 - ・ 説明されている場所以外は、分解しないでください。
- 感電・火災・けがの原因になります。

26 ランプの交換



⚠ 注意

ランプを交換するときは、電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。また、ランプが冷えてから交換してください。感電・やけどの原因になります。

【取り外し】

- ① 止めねじを外して面板を外します。
- ② ランプを左にまわして外します。

【取り付け】

- ① ランプを右にまわして取り付けます。
- ② 止めねじで面板を取り付けます。

27 ミシンの調子が悪いときの直し方

調子が悪い場合	原因	直し方
上糸が切れる	1. 上糸のかけ方がまちがっているか、糸が必要以外のところからみついている。 2. 上糸調子が強すぎる。 3. 針が曲がっていたり、針先がつぶれている。 4. 針の付け方がまちがっている。 5. ぬい始めに、上糸、下糸を押さえの下にそろえて引いていない。 6. 針に対して糸が太すぎるか、細すぎる。	5 ページ参照 8 ページ参照 針を交換する 12 ページ参照 7 ページ参照 12 ページ参照
下糸が切れる	1. ボビンケースへ下糸の通し方がまちがっている。 2. ボビンケースの糸調子ばねを強くしめすぎている。 3. ボビンケースの中や糸調子ばねの中に、ゴミがたまっている。	5 ページ参照 8 ページ参照 ボビンケースを掃除する。
針が折れる	1. 針の付け方がまちがっているか、針が曲がっている。 2. 針止めねじのしめ付けがゆるんでいる。 3. 針を布に刺したままで、模様選択ダイヤルをまわした。 4. 布に対して針が細すぎる。	10 ページ参照 10 ページ参照 布を向こう側に出す 10 ページ参照
ぬい目がとぶ	1. 針の付け方がまちがっているか、針が曲がっている。 2. 布に対して、針と糸が合っていない。 3. 伸縮性のある布や目とびのしやすい布地などのとき、ジャンメプルー針（オプション）を使っていない。 4. 上糸のかけ方がまちがっている。	針を交換する 12 ページ参照 12 ページ参照 5 ページ参照
ぬい目がしわになる	1. 上糸調子が合っていない。 2. 上糸、下糸のかけ方がまちがっているか、糸が必要以外の部分からみついている。 3. 布に対して針が太すぎる。	8 ページ参照 4、5 ページ参照 12 ページ参照
ミシンがまわらない	1. コンセントに、プラグがきちんと差し込まれていないか、つなぎ方がまちがっている。 2. かまに、糸やごみが巻きこまれている。 3. 下糸を巻いたあと、はずみ車をもとの位置にもどしていない。 (糸巻き状態になっている。)	正しく差し込む。 13 ページ参照 4 ページ参照

※ 静かな部屋で使うと「ウィーン」という小さな音があります。内部の制御モーターから発生しているもので、ぬい作業上はとくに問題はありません。

※ 外観の細い線のように見える部分は、樹脂を形成するときに発生するウェルドラインと呼ばれるものです。場所によっては目立つ場合もありますが、強度上とくに問題はありません。

MEMO

ミシンの疑問やジャノメ最新情報はこちらからご確認できます。



ジャノメ HP
FAQ ページ



ジャノメ公式
Instagram



ジャノメ公式
YouTube チャンネル

仕 様	
使 用 電 圧	100 V 50/60 Hz
消 費 電 力	50 W (ランプ 12 W 含む)
外 形 寸 法	幅 32.5 cm ×奥行き 14.3 cm ×高さ 25.5 cm
質 量	5.2 kg (本体)
使 用 針	家庭用 HA X 1
最高ぬい速度	毎分 650 回転

仕様および外観は改良のため
予告なく変更することがあり
ますのでご了承ください。

修理サービスのご案内

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は内容をお確かめの上、大切に保管してください。
- 無料修理保証期間内、およびそれ以降の修理につきましても、お買い上げの販売店が承りますのでお申し付けください。

修理用部品の保有期間

- 当社は動力伝達部品、および縫製機能部品を原則として製造打ち切り後 8 年間を基準として保有し、必要に応じて販売店に供給できる体制を整えています。

無料修理保証期間経過後の修理サービス

- 取扱説明書にしたがって、正しいご使用とお手入れがなされていれば、無料修理保証期間を経過したあとでも、修理用部品の保有期間内はお買い上げの販売店が有料で修理サービスを行います。ただし、次のような場合は修理できないときがあります。
 - 1) 保存上の不備または誤使用により不調、故障または損傷したとき。
 - 2) 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
 - 3) お買い上げ後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
 - 4) お買い上げ店または当社の指定した販売店以外で修理、分解、改造をしたために不調、故障または損傷したとき。
 - 5) 職業用等過度なご使用により不調、故障または損傷したとき。
- 長期間にわたってご使用された場合の精度の劣化は、修理によっても元通りにならないことがあります。
- 有料修理サービスの場合の費用は必要部品代、交通費、およびお買い上げの販売店が別に定める技術料の合計になります。

お客様の相談窓口

修理サービスについてのお問い合わせやご不審のある場合は下記にお申しつけください。
お問い合わせの際には、ミシン本体の正面、もしくは保証書にある商品名を控えてください。

株式会社ジャノメ

住所 〒 193-0941 東京都八王子市狭間町 1463 番地

電話 お客様相談室 0120-026-557 (フリーダイヤル)
042-661-2600

受付 平日 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)

メールでのお問い合わせは、ホームページ <https://www.janome.co.jp>
問合せフォームをご利用ください。

